

令和6年度 第4回 国立大学法人鹿屋体育大学経営協議会議事要旨

1. 日時:令和7年1月28日(火) 9時59分～10時58分
2. 開催形式:web 会議
3. 出席者:【学内委員】金久、前田、猪村、印南の各委員
【学外委員】上治、小川、宮嶋、森岡の各委員
4. 欠席者:中西、藤本の各委員
5. オブザーバー:武隈監事、小林監事
6. 列席者:北村学長補佐、田巻学長補佐、藤田学長補佐、関図書館長、事務局次長、教務課長、学生課長、国際・学術情報課長、研究・社会連携課長、総務課長、経営戦略課長、施設課長、監査室長

7. 内容:

(質疑の○は学外委員の発言を、●は学内委員及び学内者の発言を示す。以下同じ。)

1)確認事項(確認資料1)

令和6年度第3回の議事要旨案について確定された。

2)審議事項

(1) 令和6年度国立大学法人鹿屋体育大学補正予算(案)について(資料1)

猪村委員から、配付資料に基づき令和6年度補正予算(案)について説明があり、以下のとおり質疑応答がなされ、審議の結果、原案どおり了承された。

○:補正予算の光熱費高騰分相当額について、世間的には物価の高騰は今年度の方がより顕著に感じられるが、令和5年度に比べ令和6年度の方が減少しているのはなぜか。

●:本学を含む各大学から文科省に要望を出し、その結果として交付された金額が15,400千円である。今後も物価高騰による影響額について、引き続き文科省に要望を出していく予定である。

(2) 令和7年度鹿屋体育大学予算編成方針(案)について(資料2)

猪村委員から、配付資料に基づき令和7年度予算編成方針(案)について説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。また、以下のとおり委員から質問・意見が寄せられた。

○:全体の方針は理解したが、広報戦略やプロモーションの予算はどのくらい確保されているのか。予算削減という方針に逆行する部分もあるが、有効な広報戦略に努めていただきたい。

●:中期目標・中期計画の達成には、広報戦略が不可欠だと認識している。具体的な予算配分については現在調整中であり、ジャンルごとの配分については後日お示しする予定である。

○:他大学では、大学入試の願書提出の1か月前頃に一般紙に広告を出すなど、様々な形でプロモーションを行っている。鹿屋体育大学も適切な時期に効果的なアクションを起こしてほしい。

(3) 国立大学法人鹿屋体育大学職員給与規則等の一部改正について(資料3)

田代総務課長から、配付資料に基づき人事院勧告に伴う職員給与規則等の一部改正について説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。

また、以下のとおり委員から質問・意見が寄せられた。

- ：勤務成績の成績率の評価については、どのように決めているのか。例えば課長級などの役職者が部下の普段の勤務状況を見て決めているのか。
- ：人事評価制度による評価結果を成績率に反映している。人事評価制度では、各課長が課員の評価を行い、事務局長が全体を調整している。
- ：職員が納得できるような評価や査定を行ってほしい。

- (4) 国立大学法人鹿屋体育大学非常勤職員就業規則の一部改正について(資料4)
田代総務課長から、配付資料に基づき非常勤職員就業規則の一部改正について説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。

3)報告事項

- (1) 令和7年度鹿屋体育大学運営費交付金の概要について(報告資料1)
猪村委員から、配付資料に基づき令和7年度運営費交付金の概要について報告があった。なお、以下のとおり質疑応答がなされた。
- ：収入予定額の授業料収入(収容定員超過分)の減とはどういう意味か。
 - ：この部分は実績に基づいて算出されている。年度によって在籍学生数に多少の変動があり、それについて文科省による査定の際に考慮されたものである。
- (2) 国立大学法人等における剰余金の翌事業年度への繰越しに係る承認について(報告資料2)
猪村委員から、配付資料に基づき令和5事業年度の剰余金の繰越しが承認されたことについて報告があった。
- (3) 鹿屋体育大学広報アンバサダーについて(報告資料3)
あべ松事務局次長から、配付資料に基づき広報アンバサダーの設置及び第1号就任について報告があった。
- (学内外の諸情勢について)
- (4) 学生の競技成績について(令和6年10月～12月)(報告資料4)
あべ松学生課長から、配付資料に基づき、学生の競技成績について報告があった。
- (5) 本学関係者の活躍について(報告資料5)
あべ松事務局次長から、配付資料に基づき本学関係者の活躍について報告があった。

4)その他

- (1) 令和6年度の経営協議会開催日程について(その他資料1)
田代総務課長から、配付資料に基づき、次回の経営協議会の開催予定について説明があった。

以 上